

会 議 概 要

会 議 名	令和8年度第1回平塚市みなと子どもの家運営委員会		
開催日時	令和8年5月9日 午前10時00分から11時20分		
会 場	みなと子どもの家図書室		
出席者	みなと子どもの家運営委員 9名 内海明運営委員長、松尾雅信副運営委員長、山田容一委員、 岩田裕之委員、露木めぐみ委員、脇俊之委員、岡村和郎委員、 橘川由香里委員、横田佐知子委員 事務局（青少年課）4名 島津青少年課長、村田青少年育成担当長、渡部主査、岸主査		
議 題	(1)利用状況報告 (2)自主事業(令和7年度自主事業報告及び令和8年度自主事業予定) (3)その他(みなと子どもの家留守家庭児童対策事業利用登録状況)		
公開・非公開	公開	傍 聴 者	無
【審議等概要】 運営委員長の進行により、議題ごとに、事務局から説明と委員との質疑応答を行う。 (1)利用状況については みなと子どもの家利用状況表に基づき、令和7年度は令和6年度に比べ約 12.5%増、 13,587 人の利用者となった。コロナ禍以前の利用者数には戻っていない等を事務局から 説明した。 委員からは、施設での怪我の発生状況、団体利用の制約、施設運営で苦慮しているこ と及び中学生の利用の仕方等の質問があった。怪我等の発生状況は、擦り傷や打撲は 毎日のようにあり、消毒や絆創膏を貼る対応、打撲等には保冷剤、タオル等で冷やす等 の対応をすること、団体利用では事前の予約制とし、他の利用者より優先的に設備備品 等を利用させることはないこと、施設運営で苦慮する点では、施設設備の修繕と施設のル ールを子どもに守ってもらうことに苦慮していること、中学生の利用の仕方では、卓球や将 棋をすることが多く、施設内で勉強するには不向きな環境であること等を説明した。 (2)自主事業について 令和7年度は「科学マジックショー」、「あそびの広場」を実施し、各回26名及び23名の			

参加があったこと、参加した児童からは好評を得たことを事務局から説明した。

また、令和8年度の自主事業は、前年度と同様に東海大学の学生による「科学マジックショー」及びみなと子どもの家職員が講師を担う「(仮称)たのしい折り紙」の2事業を予定していることを説明した。委員からは、「科学マジックショー」の内容は過去に実施していない、新たなものを実施するよう助言を得て、令和8年度の自主事業(案)は承認された。

(3)その他

みなと子どもの家留守家庭児童対策事業利用登録状況について、令和8年度及び令和7年度の登録状況、利用状況等を事務局から報告した。また、令和8年4月に事業周知ちらしの配布を小学校の協力を得て行ったことも合わせて説明した。委員からは、子どもの家の利用、留守家庭児童対策事業及び自主事業の取り組みを周知するパンフレットの作成、活用について助言を得る。

以上

問合せ先
(事務局)

平塚市役所 青少年課 青少年育成担当
電話 0463-71-5950 FAX0463-21-9738